

平成29年度活動報告

厚別区防犯ネットワークでは、平成 29 年度に 2 回の会議を開催するとともに、主催事業として防犯教室を実施いたしました。

第 12 回厚別区防犯ネットワーク会議(平成 29 年 7 月 20 日)

子どもに関する防犯について、様々な意見や報告がありました。

- 最近、親が自家用車で児童を毎日学校に送迎する光景を数件見かける。この根本には子どもの見守り環境に関する漠然とした不安というのがあると思う。
- 地域の見守りも重要だが、子ども達が自分で自分の身を守ることも重要。そのために集団行動というのが大事であると思う。集団登下校も防犯の訓練になる。



- 「子ども110番の家」のステッカーを多くの家に貼ることは、不審者に対する心理的な抑止効果があると思われる。実際、青葉地区では多くの家にステッカーが貼られているが、青葉地区での不審者情報は他の地区と比べ非常に少ない。

第 13 回厚別区防犯ネットワーク会議(平成 30 年 2 月 7 日)

防犯と交通安全の連携について、様々な意見や報告がありました。

- 地域において、同じ人が交通安全と防犯を兼務している方が効率的であると思うが、反面、新たな担い手が不足してくると同じ人ばかりに役割が集約される傾向になり、見守り体制の高齢化が進む。
- ベストや防寒着に町内会名などの名前を入れて普段街中を歩いたり除雪をすると、不審者への抑止になる。



※下記のとおり、厚別区ホームページにて配布資料・会議録を掲載しております。

ホーム > 手続き・暮らしの情報 > 防犯・防災・消防 > 安全・安心なまち あつべつ > 防犯に関すること > 厚別区防犯ネットワーク > 過去の防犯ネットワーク会議

<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/bosai/kaigiroku.html>

地域でできるワンポイント防犯（下野幌町内会の例）

ごみ出しを小学校の登校時間に行き、自分の散歩や犬の散歩を下校時間に行ってそれぞれ児童に声掛けしています。

普段の生活の中の行動時間を登下校時に合わせるだけなので、無理のない範囲で見守り活動ができます。



■厚別区防犯教室（平成29年6月26～28日）

昨年度に引き続き、うさぎママのパトロール教室の武田信彦（たけだ・のぶひこ）氏を講師に迎え、信濃小学校、厚別西小学校、小野幌小学校、もみじの森小学校の4校の児童を対象に防犯教室を実施しました。

参加した児童は、クイズと実演をとおして自分を守る「予防力」「対処力」「断る力」それぞれの安全力を確認し、体操や【体験型のゲーム】をとおして、まわりへ意識をむけるコツ、安全を保つことが出来る他人との距離感などを実際に練習しました。

また、地域で見守りをしている方々にも多数参加していただき、児童と一緒に体験しました。

次年度も複数の小学校を対象に同様の防犯教室を開催する予定です。



周りをよく見てよく聞くことを「だるまさんが転んだ」で実演！



不審者からの誘惑に「できません！」と叫ぶ練習！



体験型ゲームをやる前に準備運動！



新聞紙で作った棒で手が届かない距離を体感！

今後の予定（平成30年度）

30年6月 防犯教室

30年7月 第14回防犯ネットワーク会議

31年2月 第15回防犯ネットワーク会議



29-2-1496
さっぽろ市
02-Q01-17-2518

（厚別区防犯ネットワークとは）

防犯関係団体、地域住民及び行政など関係機関との連携と協働により安全で安心なまちづくりを進めることを目的として、あつべつ区民協議会内に設置された組織です。

構成団体 各地区まちづくり会議、厚別区民生委員児童委員協議会、厚別区青少年育成委員会連絡協議会、厚別区保護司会、小学校長会厚別支部、厚別区中学校長会、厚別区PTA連合会、公益社団法人札幌市子ども会育成連合会厚別区支部、厚別警察署、北海道コカ・コーラボトリング(株)、厚別警察署少年補導員連絡協議会、厚別区役所

地域の安全は地域の手で！